

平成 21 年度 男女共同参画アンケート「育児支援編」(女性対象) 集計結果

(2009.9.14 男女共同参画委員会)

I. 調査の概要

1. 調査目的 : 近年若手の女性構成員の比率が著しく増加している本学大学院医学系研究科・医学部において重要な課題の1つである仕事と育児の両立支援に関し、女性構成員のニーズを把握し、支援を具体化するための材料とする。同時に、男女共同参画の観点から、本研究科・学部が存在する課題や障害、それを取り除くための仕組みや対策について自由回答を募り、大学院医学系研究科・医学部の構成員が男女を問わず能力を十分に発揮してキャリアを形成・維持・向上できるように環境を整備するための参考材料とする。
2. 調査対象 : 東京大学大学院医学系研究科・医学部、および、医学部附属病院に在籍する全ての女性研究者、女性医師
751名(2009年5月1日現在)
3. 調査実施期間 : 2009年7月10日～8月16日
4. 回収数 : 113件(回収率15.0%)

所属別回収率

所属	対象者数	回収数	回収率
基礎医学系	131	34	26.0%
臨床医学系 (病院を含む)	351	44	12.5%
保健学系	269	34	12.6%

(所属について無回答1件あり。表に含めず。)

職種・職位別回収率

職種・職位	対象者数	回収数	回収率
教授	3	1	33.3%
准教授	7	4	57.1%
講師	15	7	46.7%
助教・助手	120	38	31.7%
ポスドク	10	4	40.0%
医員(非常勤・無給 医局員を含む)	39	8	20.5%
大学院生	504	34	6.7%
専門研修医	40	2	5.0%
初期研修医	60	2	3.3%
その他		8	

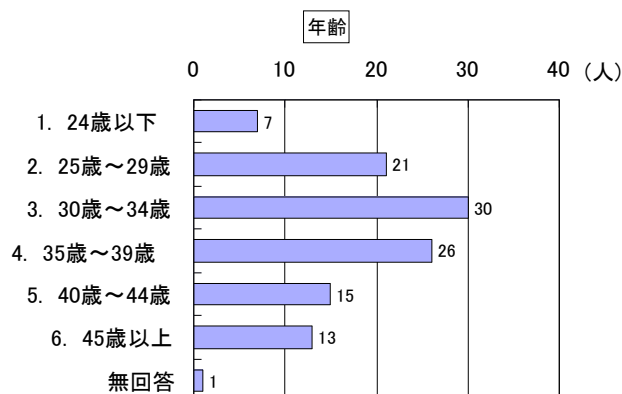
(職種・職位について無回答5件あり。表に含めず。)

II. 調査の結果

A. 基本情報

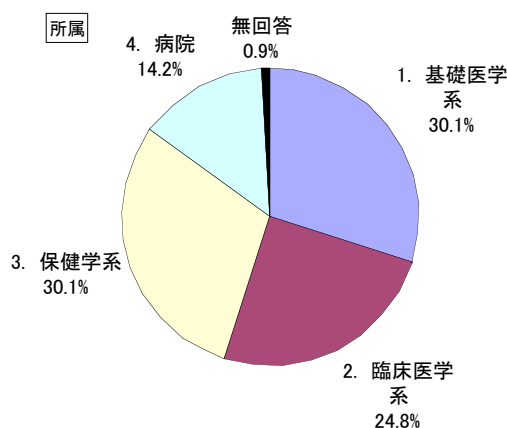
1) 年齢

年齢	n	%
1. 24歳以下	7	(6.2)
2. 25歳～29歳	21	(18.6)
3. 30歳～34歳	30	(26.5)
4. 35歳～39歳	26	(23.0)
5. 40歳～44歳	15	(13.3)
6. 45歳以上	13	(11.5)
無回答	1	(0.9)



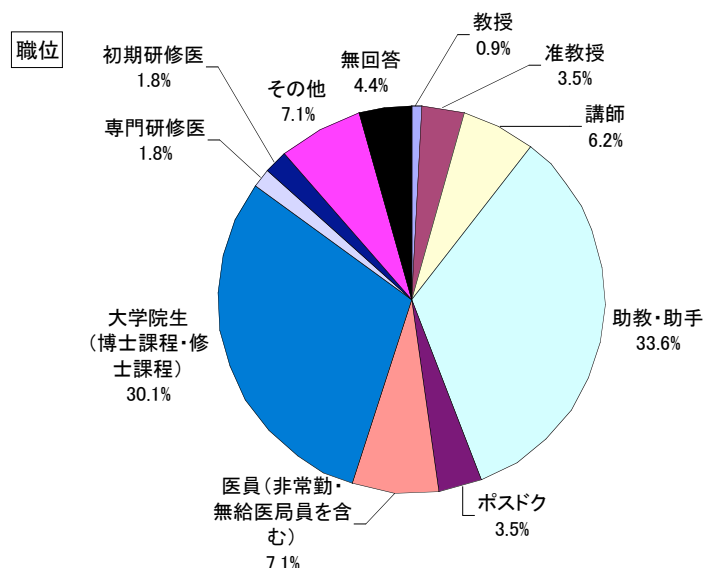
2) 所属

所属	n	%
1. 基礎医学系	34	(30.1)
2. 臨床医学系	28	(24.8)
3. 保健学系	34	(30.1)
4. 病院	16	(14.2)
無回答	1	(0.9)



3) 職種・職位

職種・職位	n	%
教授	1	(0.9)
准教授	4	(3.5)
講師	7	(6.2)
助教・助手	38	(33.6)
ポスドク	4	(3.5)
医員 (非常勤・無給医局員を含む)	8	(7.1)
大学院生 (博士課程・修士課程)	34	(30.1)
専門研修医	2	(1.8)
初期研修医	2	(1.8)
その他	8	(7.1)
無回答	5	(4.4)



4) 取得した国家資格

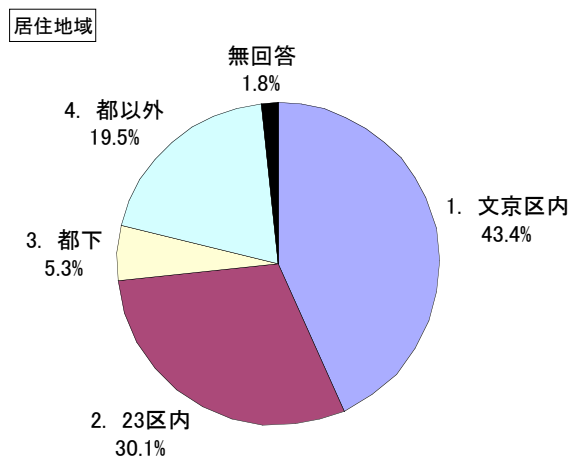
国家資格	n	%
医師	52	(46.0)
保健師・助産師・看護師	24	(21.2)
その他	17	(15.0)

5) 取得した学位

学位	n	%
修士	51	(45.1)
博士(含:海外のPh.D)	54	(47.8)

6) 居住地域

居住地域	n	%
1. 文京区内	49	(43.4)
2. 23区内	34	(30.1)
3. 都下	6	(5.3)
4. 都以外	22	(19.5)
無回答	2	(1.8)



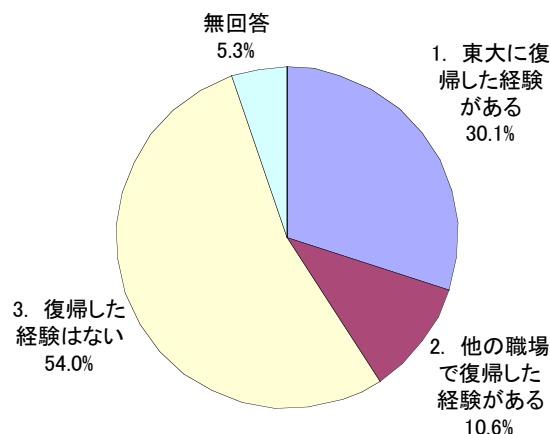
B. 出産・育児に関する基本情報

< 出産後の復帰経験について >

1) 出産後、職場に復帰した経験

	n	%
1. 東大に復帰した経験がある	34	(30.1)
2. 他の職場で復帰した経験がある	12	(10.6)
3. 復帰した経験はない	61	(54.0)
無回答	6	(5.3)

出産後、職場に復帰した経験



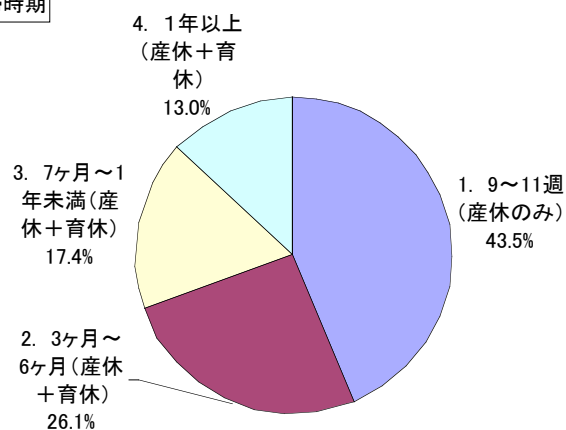
2) (前問で1,2と回答した方へ)

仕事(学業)復帰時期(一番小さい子供について)

(n=46)

	n	%
1. 9~11週(産休のみ)	20	(43.5)
2. 3ヶ月~6ヶ月(産休+育休)	12	(26.1)
3. 7ヶ月~1年未満(産休+育休)	8	(17.4)
4. 1年以上(産休+育休)	6	(13.0)

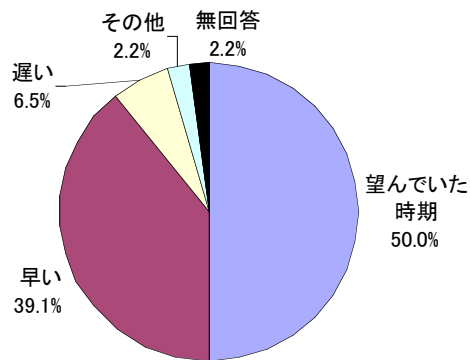
復帰時期



3) 前問の復帰時期は、望んでいた時期だったか (n=46)

	n	%	(内訳) 前問での回答			
			1 (産休のみ)	2 (~6ヶ月)	3 (~1年)	4 (1年~)
1. 望んでいた時期だった	23	(50.0)	12	4	5	2
2. 望んでいた時期より早い復帰だった	18	(39.1)	6	8	3	1
3. 望んでいた時期より遅い復帰だった	3	(6.5)	1			2
4. その他	1	(2.2)				1

望んでいた復帰時期だったか



4) 前問で 2. 3. 4. と回答された方の、そうなった状況や理由 (自由記載)

希望より早く復帰したケース

- 職場都合、職位、任期などによるもの 5 件
- 職場の同僚等に迷惑をかけるという思いから 4 件
- 保育園など、預け先の都合 4 件
- 遅れをとること、復帰できなくなることへの不安 2 件
- その他 3 件

希望より遅く復帰したケース

- 保育園など、預け先の都合 4 件
- 子供の体調 1 件

5) 現在、産休中、もしくは育休中かどうか

	n	%
1. 産休・育休中である	4	(3.5)
2. 産休・育休中ではない	99	(87.6)

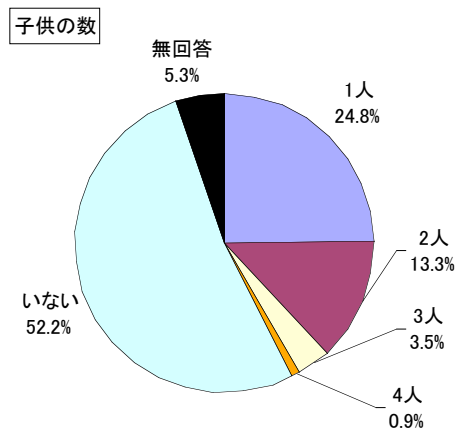
(内訳)

- 休暇予定期間： 3ヶ月~6ヶ月 (産休+育休) 2 件
- 7ヶ月~1年未満 (産休+育休) 1 件
- (無回答 1 件)

<お子様の育児経験について>

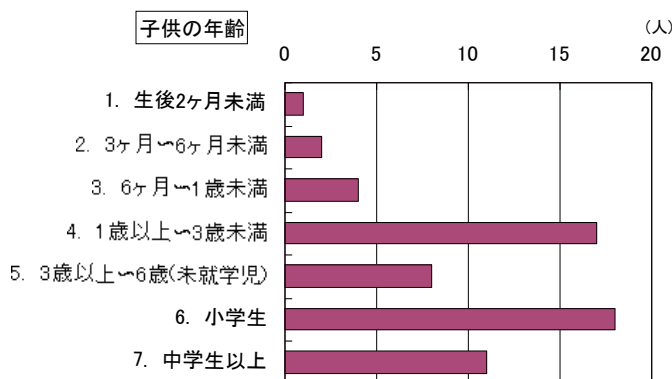
6) 現在の子供の数 (※全員回答)

	n	%
1. 1人	28 (24.8)	
2. 2人	15 (13.3)	
3. 3人	4 (3.5)	
4. 4人以上	1 (0.9)	
5. 0人(いない)	59 (52.2)	
無回答	6 (5.3)	



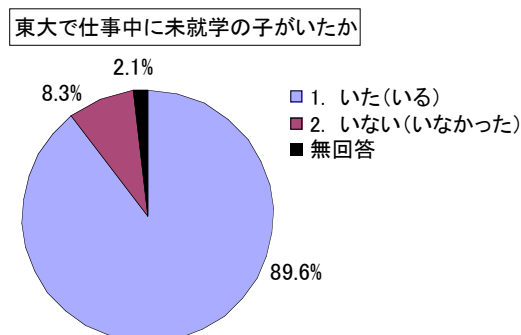
7) 現在の子供の年齢 (複数回答) (n=48)

	n	%
1. 生後2ヶ月未満	1 (2.1)	
2. 3ヶ月- 6ヶ月未満	2 (4.2)	
3. 6ヶ月- 1歳未満	4 (8.3)	
4. 1歳以上- 3歳未満	17 (35.4)	
5. 3歳以上- 6歳(未就学児)	8 (16.7)	
6. 小学生	18 (37.5)	
7. 中学生以上	11 (22.9)	



7) 東大内で仕事 (または学習) 中の期間に、未就学のお子様がいる (いる) か (n=48)

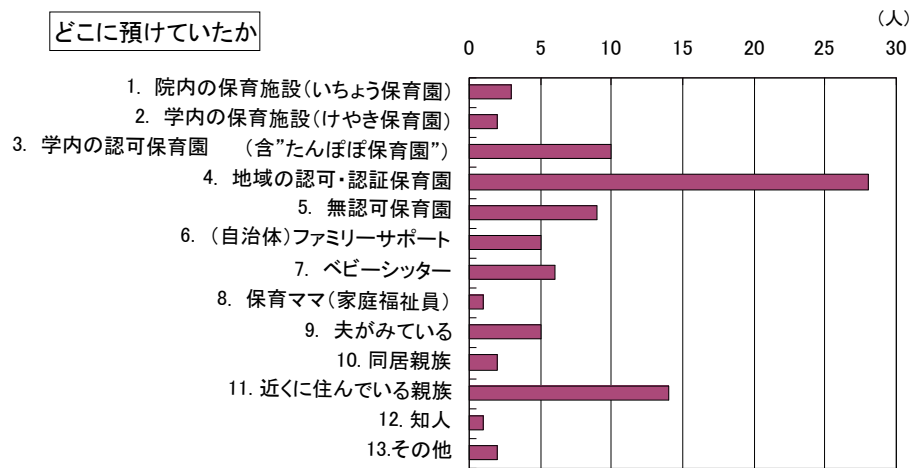
	n	%
1. いた(いる)	43 (89.6)	
2. いない(いなかった)	4 (8.3)	
無回答	1 (2.1)	



8) 前問で「1」と答えた方は、どこ (または誰) に預けている (いた) か (n=43)

	n	%
1. 院内の保育施設(いちよう保育園)	3 (7.0)	
2. 学内の保育施設(けやき保育園)	2 (4.7)	
3. 学内の認可保育園 (含”たんぼぼ保育園”)	10 (23.3)	
4. 地域の認可・認証保育園	28 (65.1)	
5. 無認可保育園	9 (20.9)	
6. (自治体)ファミリーサポート	5 (11.6)	
7. ベビーシッター	6 (14.0)	
8. 保育ママ(家庭福祉員)	1 (2.3)	
9. 夫がみている	5 (11.6)	
10. 同居親族	2 (4.7)	
11. 近くに住んでいる親族	14 (32.6)	
12. 知人	1 (2.3)	
13. その他	2 (4.7)	

どこに預けていたか

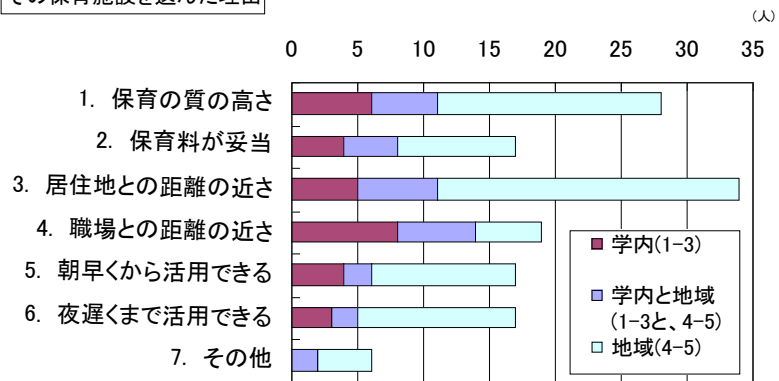


前問で保育施設(1~5)を選んだ方へ

10) その保育施設を選んだ理由・基準 (n=39)

	合計 n=39	(前問でどの保育施設を選択したか)		
		学内 (1-3) n=8	学内と地域 (1-3と、4-5) n=6	地域 (4-5) n=25
1. 保育の質の高さ	28 (71.8)	6	5	17
2. 保育料が妥当	17 (43.6)	4	4	9
3. 居住地との距離の近さ	34 (87.2)	5	6	23
4. 職場との距離の近さ	19 (48.7)	8	6	5
5. 朝早くから活用できる	17 (43.6)	4	2	11
6. 夜遅くまで活用できる	17 (43.6)	3	2	12
7. その他	6 (15.4)	0	2	4

その保育施設を選んだ理由



< 「7. その他」の自由回答より >

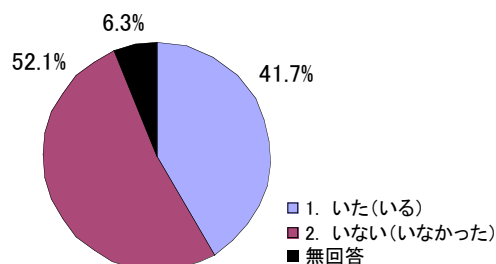
■他に空いているところなかった 5件

■その他 2件

11) 東大内で仕事（または学習）中の期間に、
小学生の子供がいたか (n=48)

	n	%
1. いた(いる)	20	(41.7)
2. いない(いなかった)	25	(52.1)
無回答	3	(6.3)

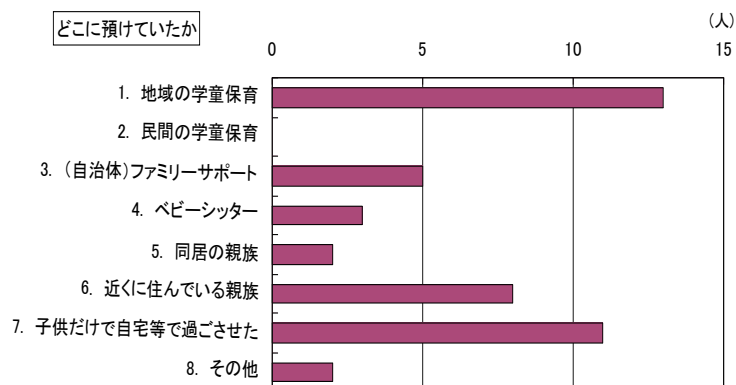
東大で仕事中に小学生の子がいたか



12) 前問で「1」と答えた方は、小学生の子供を放課後どこ（または誰）に預けている（いた）か
(n=20)

	n	%
1. 地域の学童保育	13	(65.0)
2. 民間の学童保育	0	(0.0)
3. (自治体)ファミリーサポート	5	(25.0)
4. ベビーシッター	3	(15.0)
5. 同居の親族	2	(10.0)
6. 近くに住んでいる親族	8	(40.0)
7. 子供だけで自宅 (あるいは、塾、稽古事など)で過ごさせた	11	(55.0)
8. その他	2	(10.0)

どこに預けていたか



13) 利用した保育サービスの不十分な点、問題点（自由記載）

■保育園について（15件）

- ◆空きがない 6件
- ◆延長・夜間保育が不十分 3件
- ◆保育園の質 2件

【学内のいちょう保育園、けやき保育園について】

- ◆入園制限、手続きの煩雑さ 4件

■ベビーシッター（6件）

- ◆費用が高額 4件
- ◆質の問題 1件
- ◆手続きの煩雑さ 1件

■病児保育（6件）

- ◆サービスの不足 6件

■学童保育（6件）

- ◆平日は午後6時で閉まってしまう 3件
- ◆4年生以上の子供は利用できない、長期休暇の昼食場所の確保 2件
- ◆経済的負担が大きい 1件

■ファミリーサポート（3件）

- ◆提供会員が見つからない 2件

◆予約制のため、緊急時に使えない 1件

■学内施設・支援の不足について (2件)

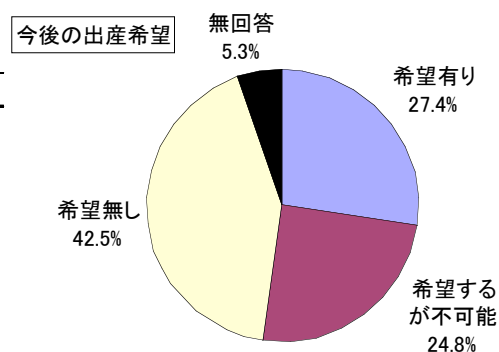
◆搾乳場所がない 1件

◆学内に学童保育支援がない 1件

<今後の出産希望について>

14) (※全員回答) 今後の出産希望

	n	%
1. 2,3年以内に新たに子どもをもつ予定または希望がある、もしくは、現在出産後の休暇中で今後2,3年以内に復帰する予定または希望がある。	31	(27.4)
2. 近い将来(2,3年以内)に新たに子どもをもつ希望はあるが、実現はほぼ不可能である。	28	(24.8)
3. 近い将来(2,3年以内)に新たに子どもをもつ予定または希望はない。	48	(42.5)
無回答	6	(5.3)

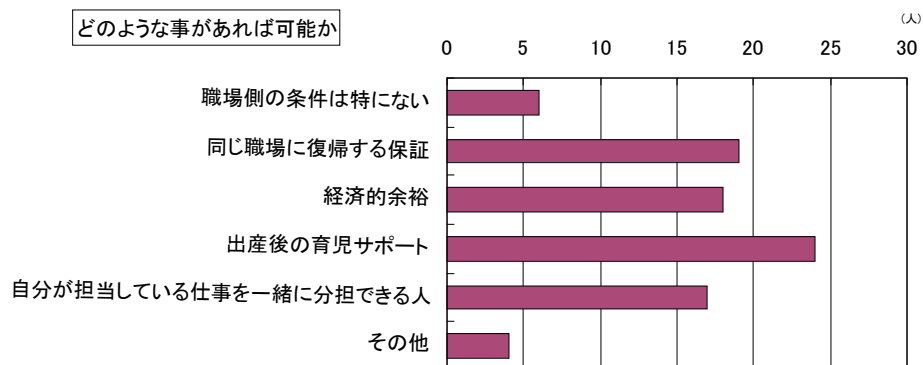


15) 前問「2」(希望するが不可能)の回答者へ:

職場側でどのようなことがあれば実現が可能か (n=28)

	n	%
職場側の条件は特にない	6	(21.4)
同じ職場に復帰する保証	19	(67.9)
経済的余裕	18	(64.3)
出産後の育児サポート	24	(85.7)
自分が担当している仕事を一緒に分担できる人	17	(60.7)
その他	4	(14.3)

どのような事があれば可能か



C. 近い将来における育児に関するニーズ

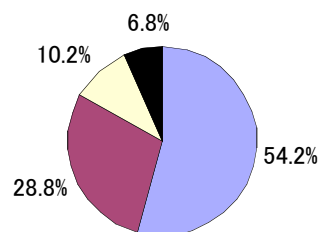
※C)の1)~10)は、14)で「1」または「2」と答えた方(出産希望のある方)のみ回答。

<仕事復帰について>

1) 出産後の仕事(学業)について、
どのように考えているか (n=59)

	n	%
1. 同じ職場に復帰したいし、実現できると思う	32	(54.2)
2. 同じ職場に復帰したいが、実現できないと思う※	17	(28.8)
3. 同じ職場には復帰することは考えていない※	6	(10.2)
無回答	4	(6.8)

出産後の職場復帰



- 1. 同じ職場に復帰したいし、できる
- 2. 同じ職場に復帰したいが、できない
- 3. 同じ職場には復帰することは考えていない
- 無回答

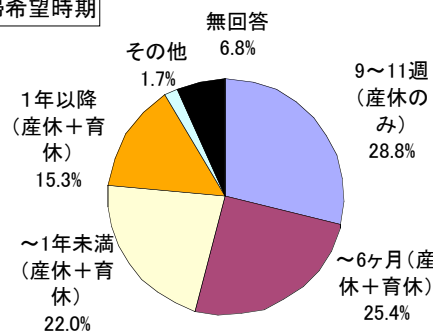
※ 2, 3 の理由 (自由記載)

- 職場・職位・任期等の都合 11 件
- 学業優先・卒業予定 3 件
- 子育てサポート環境 1 件
- その他 3 件

2) 出産後の復帰希望時期 (n=59)

	n	%
1. 9-11週(産休のみ)	17	(28.8)
2. 3ヶ月-6ヶ月(産休+育休)	15	(25.4)
3. 7ヶ月-1年未満(産休+育休)	13	(22.0)
4. 1年以降(産休+育休)	9	(15.3)
5. その他	1	(1.7)
無回答	4	(6.8)

復帰希望時期



2) 復帰直後の0~1歳の時に、仕事の主たる育児の担い手をどう(または誰に依頼)したいか
(n=59)

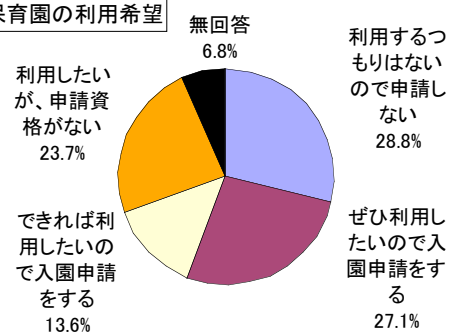
	希望順位						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 保育施設-院内	16 (27.1)	9 (15.3)	9 (15.3)	3 (5.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.7)
2. 保育施設-学内	15 (25.4)	18 (30.5)	6 (10.2)	3 (5.1)	0 (0.0)	1 (1.7)	0 (0.0)
3. 保育施設-文京区内	4 (6.8)	3 (5.1)	14 (23.7)	2 (3.4)	4 (6.8)	2 (3.4)	0 (0.0)
4. 保育施設-居住地(文京区以外)	8 (13.6)	6 (10.2)	6 (10.2)	5 (8.5)	4 (6.8)	0 (0.0)	2 (3.4)
5. 配偶者	2 (3.4)	3 (5.1)	4 (6.8)	4 (6.8)	0 (0.0)	2 (3.4)	2 (3.4)
6. 親族	10 (16.9)	2 (3.4)	9 (15.3)	8 (13.6)	5 (8.5)	3 (5.1)	1 (1.7)
7. 親類	0 (0.0)	5 (8.5)	0 (0.0)	2 (3.4)	1 (1.7)	3 (5.1)	0 (0.0)
8. 保育ママ(家庭福祉員)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.4)	4 (6.8)	2 (3.4)	3 (5.1)	5 (8.5)
9. (自治体)ファミリーサポート	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (5.1)	5 (8.5)	3 (5.1)	2 (3.4)
10. ベビーシッター	0 (0.0)	2 (3.4)	2 (3.4)	5 (8.5)	6 (10.2)	5 (8.5)	0 (0.0)
11. その他	0 (0.0)	2 (3.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

< 保育施設について >

4) 院内保育施設(いちょう保育園など)に空きがあると仮定して、2009年度、2010年度、2011年度に学内・院内保育施設の利用を希望するか (n=59)

	n	%
1. 利用するつもりはないので申請しない	17	(28.8)
2. ぜひ利用したいので入園申請をする	16	(27.1)
3. できれば利用したいので入園申請をする	8	(13.6)
4. 利用したいが、申請資格がない	14	(23.7)
無回答	4	(6.8)

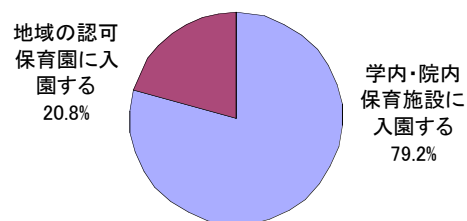
院内保育園の利用希望



5) 保育園の利用を希望している方(前問で2,3を選んだ方)へ
 学内・院内保育施設と地域の認可保育園の両方から入園許可を
 もらえた場合には、どちらに入園するか (n=24)

	n	%
1. 学内・院内保育施設に入園する	19	(79.2)
2. 地域の認可保育園に入園する (含大学敷地内”たんぼぼ保育園”)	5	(20.8)

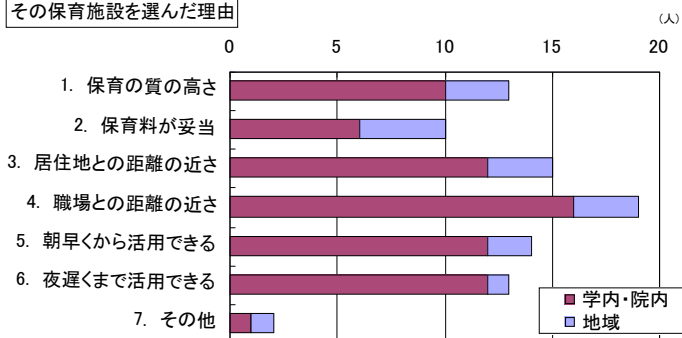
入園希望



9) 前問の保育施設を選んだ理由・基準は何か (n=24)

	(内訳)前問		
	合計	1.学内・院内	2.地域
1. 保育の質の高さ	13 (54.2)	10	3
2. 保育料が妥当	10 (41.7)	6	4
3. 居住地との距離の近さ	15 (62.5)	12	3
4. 職場との距離の近さ	19 (79.2)	16	3
5. 朝早くから活用できる	14 (58.3)	12	2
6. 夜遅くまで活用できる	13 (54.2)	12	1
7. その他	2 (8.3)	1	1

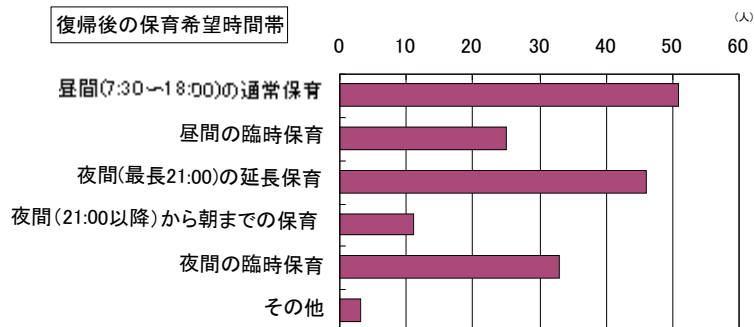
その保育施設を選んだ理由



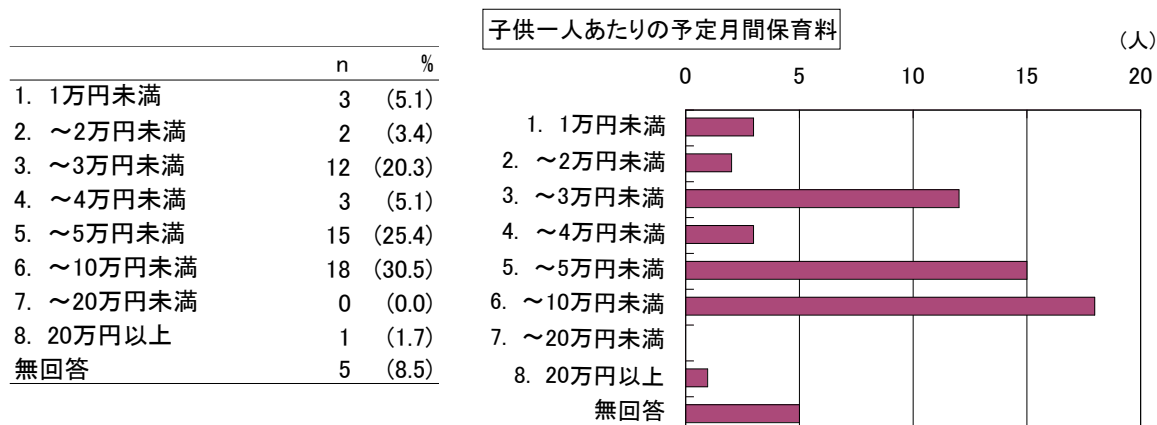
8) 仕事(学業)復帰後に、子供の保育を希望する時間帯について (n=59)

	n	%
1. 昼間(7:30~18:00)の通常保育	51	(86.4)
2. 昼間の臨時保育	25	(42.4)
3. 夜間(最長21:00)の延長保育	46	(78.0)
4. 夜間(21:00以降)から朝までの保育	11	(18.6)
5. 夜間の臨時保育	33	(55.9)
6. その他	3	(5.1)

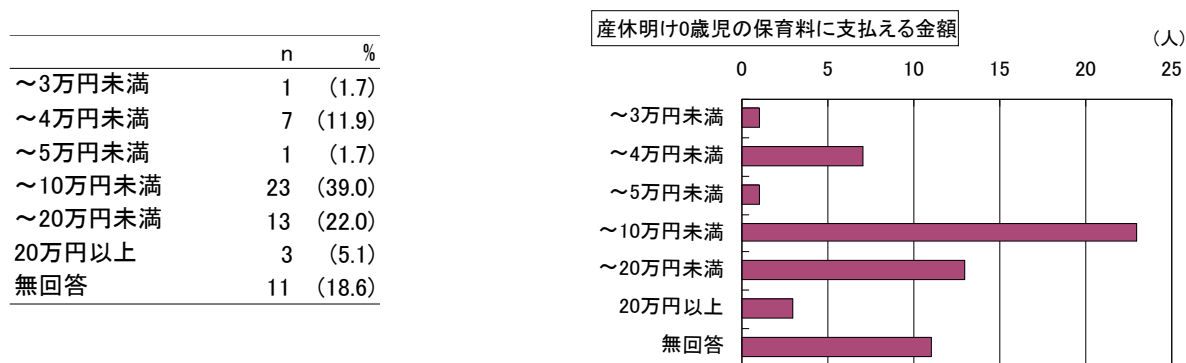
復帰後の保育希望時間帯



9) 子供一人あたりの月間保育料は、どのくらいの金額を予定しているか (n=59)

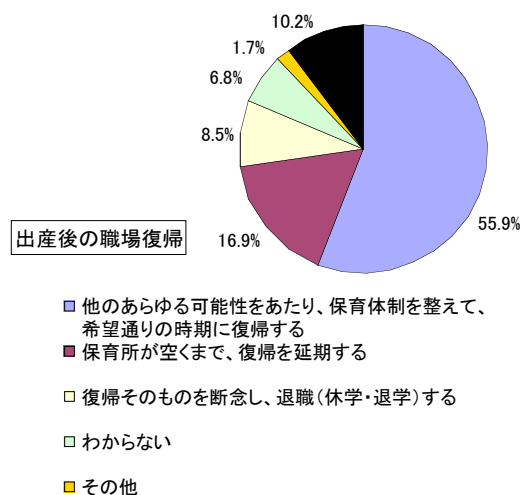


10) 産休明けの0歳児の場合、毎月いくら位まで支払えるか (n=59)



11) 出産後に仕事(学業)復帰したい時期に学内・院内保育施設が満員で利用できない状態が生じた場合、どうするか (n=59)

	n	%
1 他のあらゆる可能性(認可保育園、認証保育園、無認可保育園、ベビーシッター、ファミリーサポート、保育ママ、親族、知人)をあたり、保育体制を整えて、希望通りの時期に復帰するつもりである	33	(55.9)
2 (学内、もしくは、地域の)保育所が空くまで、復帰を延期すると思う	10	(16.9)
3 復帰そのものを断念し、退職(休学・退学)すると思う	5	(8.5)
4 わからない	4	(6.8)
5 その他	1	(1.7)
6 無回答	6	(10.2)

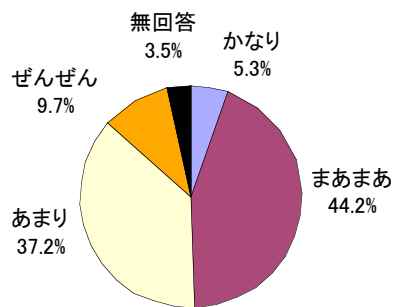


D. 東大における家庭・子育てと仕事の両立支援について

1) 現在のあなたの生活は、ワークライフバランスがどの程度とれていると思うか

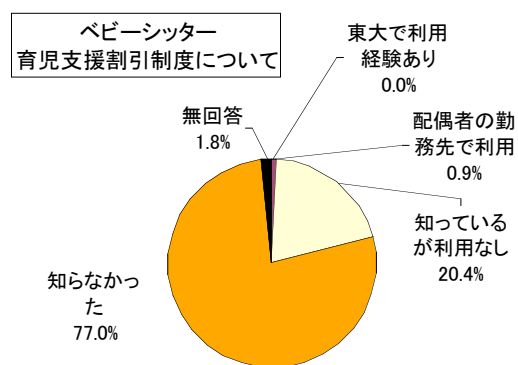
	n	%
1. かなりとれている	6	(5.3)
2. まあまあとれている	50	(44.2)
3. あまりとれていない	42	(37.2)
4. 全然とれていない	11	(9.7)
無回答	4	(3.5)

ワークライフバランスがどの程度とれているか



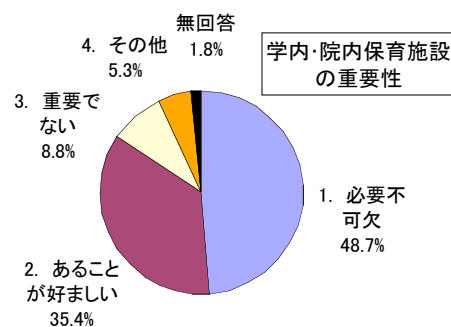
2) 「ベビーシッター育児支援割引制度」を知っているか

	n	%
1. 知っており、東京大学で利用したことがある	0	(0.0)
2. 知っており、配偶者の勤務先で利用したことがある	1	(0.9)
3. 知っているが、利用したことはない	23	(20.4)
4. 知らなかった	87	(77.0)
無回答	2	(1.8)



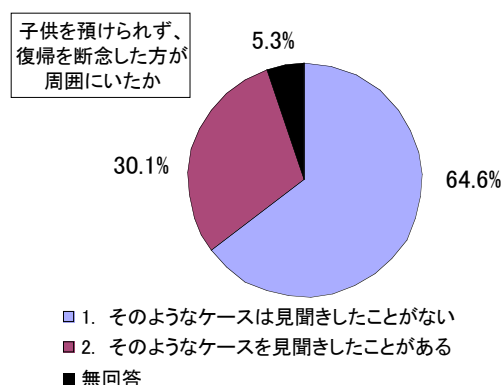
3) 現在の状況で、大学（院）への入学・就職・勤続を考える際、学内・院内保育施設の有無はどれくらい重要と考えるか

	n	%
1. 学内・院内保育施設は必要不可欠	55	(48.7)
2. 学内・院内保育施設はあることが好ましい	40	(35.4)
3. 学内・院内保育施設は重要でない	10	(8.8)
4. その他	6	(5.3)
無回答	2	(1.8)



4) 保育施設に子供を預けられず、仕事（学業）復帰を断念した方が周囲（東大内）にいたか

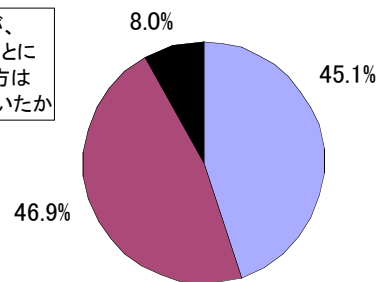
	n	%
1. そのようなケースは見聞きしたことがない	73	(64.6)
2. そのようなケースを見聞きしたことがある	34	(30.1)
無回答	6	(5.3)



5) 仕事（学業）復帰は可能になったものの、保育施設に子供を預けることに困難があった方は
周囲（東大内）にいたか

	n	%
1. そのようなケースは見聞きしたことがない	51	(45.1)
2. そのようなケースを見聞きしたことがある	53	(46.9)
無回答	9	(8.0)

復帰できたが、
子供を預けることに
困難があった方は
周囲（東大内）にいたか

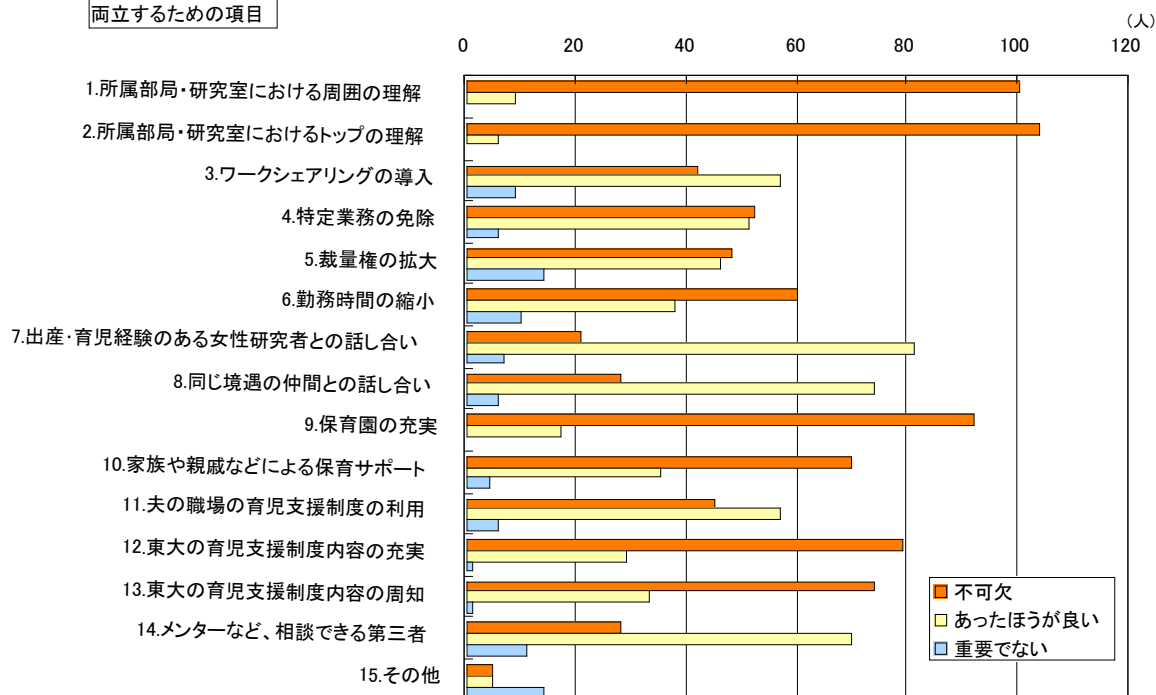


- 1. そのようなケースは見聞きしたことがない
- 2. そのようなケースを見聞きしたことがある
- 無回答

6) 東京大学医学部において子育てと仕事を両立するための項目

	(n(%))		
	不可欠	あったほうが良い	重要でない
1. 所属部局・研究室における周囲の理解	100 (88.5)	9 (8.0)	0 (0.0)
2. 所属部局・研究室におけるトップの理解	104 (92.0)	6 (5.3)	0 (0.0)
3. ワークシェアリングの導入	42 (37.2)	57 (50.4)	9 (8.0)
4. 特定業務の免除	52 (46.0)	51 (45.1)	6 (5.3)
5. 裁量権の拡大	48 (42.5)	46 (40.7)	14 (12.4)
6. 勤務時間の縮小	60 (53.1)	38 (33.6)	10 (8.8)
7. 出産・育児経験のある女性研究者との話し合い	21 (18.6)	81 (71.7)	7 (6.2)
8. 同じ境遇の仲間との話し合い	28 (24.8)	74 (65.5)	6 (5.3)
9. 保育園の充実	92 (81.4)	17 (15.0)	0 (0.0)
10. 家族や親戚などによる保育サポート	70 (61.9)	35 (31.0)	4 (3.5)
11. 夫の職場の育児支援制度の利用	45 (39.8)	57 (50.4)	6 (5.3)
12. 東大の育児支援制度内容の充実	79 (69.9)	29 (25.7)	1 (0.9)
13. 東大の育児支援制度内容の周知	74 (65.5)	33 (29.2)	1 (0.9)
14. メンターなど、相談できる第三者	28 (24.8)	70 (61.9)	11 (9.7)
15. その他	5 (4.4)	5 (4.4)	14 (12.4)

両立するための項目



「15. その他」の自由記載内容について（1～14 と重複する回答もあり）

- 様々な働き方 2件
週40時間未満でも、常勤（あるいは常勤的非常勤）
フレックスタイム制や時短勤務（+保育利用）など
- 女性自身や周囲の意識改革や周囲（トップ）の理解を深めるための啓発 3件
- その他 6件

E. 医学部・医学系研究科における男女共同参画全般に関するご意見・ご希望

1) 男女共同参画の観点から、東京大学医学部・大学院医学系研究科にはどのような課題や障害がありますか？

- 労働環境、労働条件に関すること 16件
- 育児（+介護）支援の必要性に関すること 13件
- 全体的な意識の問題 7件
- 女性のトップ、ロールモデルが少ないこと 7件
- 任期制や身分保障の問題 5件
- 人事などの取扱い 4件
- 授乳室の不足、出産前後の休憩場所の不足、官舎の不足など 4件
- 経済的な問題 2件
- 男性の育児参加の不足 2件
- 東京大学医学部医学科の女子学生の意識について 1件
- 事務手続きの電子化の必要性 1件

2) 前問で記入された課題や障害を取り除くために、東京大学にどのような仕組みや対策があれば良いと思いますか？

- 保育支援の充実 計12件
保育園増設・定員増加の希望 3件
柔軟な受け入れ態勢（年度途中の受け入れ枠の設置を含む） 3件
その他（園庭、区外との連携、土曜保育の開始、車通学・通勤） 4件
- 様々な働き方ができるポジションの設置 6件
- 育児休暇の推奨（とくに男性にも） 4件
- 休憩室（休憩、搾乳できる場所）の充実 4件
- 人事・ポジティブアクションについて 4件
- 相談所の充実とペナルティーの設置 3件
- 任期、再任回数について 2件
- 技官、実験技術補佐員の充実 2件
- 男女共同参画についての情報周知、教育 2件
- 手続きの電子化 1件

- 経済的支援 1件
- 時間帯の配慮を周知徹底 1件
- パートタイム医師としての雇用 1件
- 大学全体で行う研究会での託児スペースの設置 1件
- 官舎の充実 1件
- その他 3件

3) 前問で記入された課題や障害を取り除くために、医学部・医学系研究科にどのような仕組みや対策があれば良いと思いますか？

- 保育施設、子育て支援の充実 7件
- 時間外の会議削減 5件
- 人事・ポジティブアクションなど 4件
- 経済的負担の軽減 4件
- 安心して休める制度 3件
- 相談窓口の設置（メンター含む） 3件
- トップ（教授）の意識改革と教育 3件
- 医学系研究科・医学部・附属病院独自の休憩室 3件
- 労働環境、労働条件 2件
- ワークシェアリングの導入 2件
- ポストの充実 2件
- 復帰支援制度 1件
- 医学部学生キャリア教育 1件
- 医学系研究科における男女共同参画委員会の存在の周知（ホームページ作成） 1件
- 研究補助員、事務員などの支援要員の派遣 1件
- その他 2件

4) その他、ご意見、ご希望がありましたらご記入下さい。

- 男女共同参画について、当委員会の活動について 7件
- 本アンケート調査について（公表の希望、男性も調査対象に、周知） 4件
- 職場環境について 4件
- トップの考え方に関すること 2件
- ロールモデルの欠如 1件
- 経済的な困難 1件
- 保育園 2件
- その他 4件